

# 博物館の標本工房

Atelierum specimum animalum in museo

2012年12月15日(土)

▶2013年2月24日(日)

博物館では、動物の形や情報を後世に伝えるために、死んだ動物を標本に加工して収蔵庫で保管しています。動物園から来た珍しい動物もいれば、事故にあつて死んだ野生動物もいます。その由来もさまざまなら、剥製、骨格標本、液浸標本のように標本の形も多様です。わたしたち博物館のスタッフは、これらをたいせつな自然史の資料として、後世に伝えていこうと、日々、奮闘しています。この展示では、哺乳類や鳥類のいろいろな標本と、それを作る人たちの活動を紹介します。

## プレ企画 企画展製作中の展示室を公開!

11月20日から12月9日まで、特別展示室を公開して、展示づくりの現場をお見せします。展示の過程を見学できるのは、めったにない機会です。危険防止のため、入口からの見学になります。みなさん!のぞいてみませんか?

## 標本作りの現場を紹介します!

博物館に展示されている動物の剥製や骨格はどうやって作られるのでしょうか。専門の人が作るの?どれくらい時間がかかる?作り方は?など、その疑問にお答えします。

## 大型標本大集合

アジアゾウの全身骨格やクジラの骨格、ボンゴやソマリノロバといった大型哺乳類の本剥製など、大きな標本が大集合。なかでも、小田原市小田原城址公園で飼育されていたアジアゾウ「ウメ子」の全身骨格と、2012年1月に小田原市国府津の海岸へ漂着したザトウクジラの骨格は必見です!

## スペシャルゲスト 北陸からクジラがやってくる

富山市科学博物館の協力のもと、オウギハクジラの全身骨格が当館へやってきます。この骨格の一番の特徴は、「簡単に組み立てられる」ことです。全長が5メートルもあるクジラをどうやって組み立てるのでしょうか?展示期間中に講座を2回開催して、参加者に組み立ててもらいます。完成した骨格は、展示室にそのまま展示します。

## 「標本工房」のイベント

### ◎ 講座 (事前申込制)

◆骨のかたちをくらべよう

(大人編) 12月15日(土) / (子ども編) 2月23日(土)

◆クジラの全身骨格を組み立てよう

12月16日(日) / 1月19日(土) (2日間とも同内容です)

◆鳥の羽のしおりを作ろう 1月26日(土)

### ◎ 博物館ちよこつと体験コーナー (当日受付)

「マイミュージアムを作ろう」、「標本クイズに挑戦」など、企画展に関連する子ども向けイベントを「ちよこつと」行います。内容は当日来館してのお楽しみです。

12月23日(日) / 1月13日(日) /

2月3日(日) / 2月10日(日) / 2月16日(土)

### ◎ 講演会「博物館で標本にかかわる達人たち」(当日受付:先着70名)

1月27日(日) 13時30分~16時 場所:博物館講義室

#### 【演者】

遠藤 秀紀氏 (作家・東京大学総合研究博物館教授)

西澤 真樹子氏 (なにわホネホネ団 団長)

相川 稔氏 (標本土)

加藤 ゆき (当館 鳥類担当学芸員)

### ◎ 第104回サロン・ド・小田原 「みんなで残す自然史資料」

(当日受付:友の会共催) 2月16日(土) 17時30分~18時30分

場所:博物館講義室

話題提供:加藤ゆき (当館鳥類担当学芸員)

※ 行事の内容や申し込み方法など、詳細については、ホームページをご覧ください。



### 交通案内

電車…箱根登山鉄道  
(小田急線乗り入れ)  
入生田駅下車  
徒歩3分

車…国道1号線「地球博物館前」交差点(歩道橋)に表示あり



### 利用案内

開館時間 9:00~16:30 (入館は16:00まで)

#### 観覧料

観覧料	常設展	企画展
20歳~64歳(学生を除く)	510円	無料
20歳未満・学生	300円	
高校生・65歳以上	100円	
中学生以下	無料	

休館日 12/17・12/25・12/29・12/30・12/31  
1/1・1/2・1/3・1/7・1/8・1/15・1/21・1/28  
2/4・2/12・2/18



〒250-0031 小田原市入生田499  
電話:0465-21-1515 FAX:0465-23-8846  
<http://nh.kanagawa-museum.jp/>

後援 小田原市  
協力 小田急グループ/神奈川県自然環境保全センター/富山市科学博物館/なにわホネホネ団/(公財)横浜市緑の協会/横浜市立金沢動物園/横浜市立野毛山動物園/横浜市立よこはま動物園/横浜・八景島シーパラダイス